

事務事業名		永井隆記念館施設整備事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	社会教育G	課長名	細木皇宏
	施策名	(30)平和と人権の尊重		担当者名	安部千愛	電話番号	40-1073 (内線) 2241
	目的:対象	対 象	市民	意 図	平和の意義を理解するとともに、人権を守り、お互いを尊重しあう。		
	基本事業名	(092)地域における平和・人権の尊重		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 2 5 1 0 0 2	社会教育施設整備事業 永井隆記念館施設整備事業	
目的:対象	対 象	市民	意 図	地域において人権を尊重し合う。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (29 年度 ~ 2 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
老朽化した施設の整備を目的に、永井隆記念館の建替え工事を行う
H29 基本計画策定・基本設計 H30 実施設計・取壊し・敷地造成 H31 建設工事・敷地造成(繰越分) R2 建設工事 R3.4 供用開始

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	測量調査 用地買収 解体工事 造成工事(次年度へ繰越) 実施設計	造成工事(繰越分) 建設工事(6月補正で予算要求予定)				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 永井隆記念館整備に関する委員会開催数	回		4	2	0
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	永井隆記念館の建替え工事	ア 契約数	件		4	8	6
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
工事が順調に進捗する	ア 進捗率(全体)	%		6.0	30.0	50.0	
	イ						
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
報償費:54千円、需用費:128千円、役務費:251千円、委託料26,158千円、工事請負費:57,629千円、公有財産購入費:4,888千円、補償費:1,011千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円		6,800	83,100	50,500
		その他	千円			7,000	4,000
		一般財源	千円		5,286	19	890
	事業費計(A)	千円		12,086	90,119	55,390	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	
延べ業務時間		時間		1,800	2,000		
人件費計(B)		千円		7,339	8,664		
トータルコスト(A)+(B)	千円		19,425	98,783			

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
S45年の建設から47年が経過し施設が老朽化している。H28年2月には地元自主組織等で組織された永井隆記念館整備促進委員会より建設についての要望書が提出された。	H29年度に雲南市三刀屋町永井隆記念館整備に関する委員会を立ち上げ、整備についての検討を進めている。	整備に関する委員会では、博士の顕彰展示について良いものを求める意見や図書室や研修室について市民の生涯学習拠点としての機能を求める意見等がある。また、生い立ちの家や飯石小学校等との連携も施設整備とあわせて求められている。

事務事業名	永井隆記念館施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	関係機関や市民の代表と協議を行いながら、事業を進めており、今後もその手法で成果が向上するよう進めていく
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	生涯学習の環境整備が損なわれる
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	市内類似施設はなく、他事業との整理統合は考えられない
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	入札減による事業費の削減は行っているが、その後の変更によりほぼ予算額を執行した
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	最低限の人員であり、また業務としても必要最低限なものであり削減余地はない
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	全市民の利便性向上を図ることが目的の建替え工事であり、公平である
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	整備に関する委員会立ち上げ、協議を行いながら基本計画を策定し、その基本計画を基にプロポーザルで設計業者を決定した。H29年度の基本設計をもとに整備に関する委員会の意見を踏まえ実施設計に取り組んだ。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
引き続き関係機関や市民代表と協議を行いながら実施設計を基に工事を進めていく。また、運営について議論を深めていく。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			